

1. 事業名 令和7年度立山砂防歴史の砂防施設保存活用計画検討業務
2. 所属事務所 立山砂防事務所
3. 方式 簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書提出要請日 令和7年2月13日
5. 技術提案書提出日 令和7年3月5日

評価項目	評価の着目点		評価のウェイト	1		2		3		4		5	
				A社									
				評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
全体	実施方針等との技術提案全体の整合性	実施方針等との技術提案全体の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は特定しない。	15	AAA	15.0								
評価テーマⅠ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	20	AAA	20.0								
		着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	20	AAA	20.0								
		当該業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	10	AAA	10.0								
		当該業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	0	AAA	0.0								
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	10	AAA	10.0								
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	15	AAA	15.0								
		利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。	10	AAA	10.0								
		提案内容によって想定される事業費が適切な場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0									

評価テーマⅡ	独創性	周辺分野、異分野技術を採用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		当該業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		当該業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		提案内容によって想定される事業費が適切な場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
周辺分野、異分野技術を採用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。		0	ABC	0.0									
複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。		0	ABC	0.0									
新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。		0	ABC	0.0									

評価テーマⅢ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		当該業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		当該業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
		提案内容によって想定される事業費が適切な場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0								
	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0					CCC	0.0		
		周辺分野、異分野技術を採用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0					CCC	0.0		
		複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0					CCC	0.0		
		新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。	0	ABC	0.0					CCC	0.0		

小計③			100		100.0								
-----	--	--	-----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

総合計			200		187.0								
-----	--	--	-----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

特定結果	技術提案の特定者			◎									
	特定時の順位			1位									